

備前市事務事業評価シート

事業の概要		事業開始年度		平成4年～		根拠法令・例規等		文化芸術基本振興法		
総合計画	大項目	基本目標	03	地域文化と人が輝くまちづくり		問	担当課(室)	生涯学習課		
	中項目	基本施策	03	歴史と文化の輝くまちづくり			合	職・氏名	石井啓	
	小項目	施策	01	文化芸術の振興			先	電話	0869-64-1841	
事務事業名		01		文化活動推進事業		このシート作成に要した時間		3.5 時間		

事業の目的		Plan	
対象(誰・何に対して)	市内の子どもから大人まで、芸術・文化に興味を持つ人。これから文化芸術活動を地域で行おうとする人。		
目的(何のために)	地域の中で芸術文化に親しむ機会を提供し、地域の文化力を高めていく。その結果、豊かな人芸性が育まれる。		
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	吹奏楽フェスティバルは、自主的な活動をはかり、参加団体の活性化をはかる。第2回岡山県子ども備前焼作品展を開催し、次世代への伝統文化の継承をはかるきっかけとしたい。		

事業の実績		Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	備前吹奏楽フェスティバル	音楽活動を通して、小学生・中学生・高校生・社会人などの交流をを促進し、グループ活動の成果発表の機会を設ける。	
	子ども備前焼作品展事業	岡山県の伝統文化である備前焼を通して、次世代を担う児童生徒が豊かな感性や創造性を養い、活力ある市民生活と地域文化の発展に貢献することを目的に県内在住の小学校4年生から中学校3年生までの備前焼作品を対象にした第3回の公募展を開催した。	

決算額	事業費等		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績			
	事業費	直接事業費	千円	3,280	409	498			
	必要人員	人件費	千円	1.29人	11,018	0.33人	2,901	0.26人	2,834
	事業費	金		14,298	3,310	3,332			
	財源	国	支出金						
		受	益者負担						
繰		入金							
市	債								
その他( )									
一	般	財	14,298	3,310	3,332				
受	益者負担	比率	%	-	-	-			

結果指標	結果指標名	単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績						
	岡山県子ども備前焼作品展応募者数	説明	岡山県子ども備前焼作品展応募者数	566	779	596					
	対	前	年	比	%	-	72.7%	105.3%			
	活	動	コ	ス	ト	円	3,310,000	2,782,000			
	単	位	当	た	り	コ	ス	ト	円	0	5,848

事業の成果		平成24年度事業				
成果指標名	年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値	
岡山県子ども備前焼作品展応募者数(新指標)	目標値(A)		800	800	800	
	実績値(B)	779	566	600	到達目標値	
	達成率(B/A)	#DIV/0!	70.75%	75.00%	800	
成果指標設定の考え方・式や説明						
22年度で国民文化祭事業は完了しているため、23年度以降は「岡山県子ども備前焼作品展」の応募者数を新たな指標にしている。次世代を担う児童生徒を対象にしているため、その応募者数がひとつの指標になると考える。						

事務事業の評価		Check	
妥当性の評価	市の関与の妥当性 必要性	該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください 市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い A
効率性の評価	コスト 手段	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い B
有効性の評価	目的達成度 市民参画度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い B

進行年度(H25年度)の改革改善内容	
状況	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
説明	平成22年度に開催された国民文化祭の事業として始めた「岡山県子ども備前焼作品展」をいかに充実、発展させていくかが課題である。吹奏楽フェスティバルは昨年度に引き続き、人的コストの削減に努める。

総合評価		Action	
「第3回岡山県子ども備前焼作品展」は備前焼まつりの開催に合わせて開催した。応募者やその保護者、まつり参加者など多くの方々が会場を来訪し、子どもたちの豊かな発想力に触れた。応募者数は前年度より増加した。子供向けのワークショップを開催する工夫をするなど、会場来訪者は焼き物のよさを再認識したり、焼き物文化を次世代に伝承する子供たちのエネルギーを感じたりと、地域文化発展に貢献する事業になった。		総合評価	A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い B

平成26年度の方向性・取組目標	
方向性	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
取組目標	「岡山県子ども備前焼作品展」として定着させるとともに、今後も文化施設等とのワークショップで連携をはかる仕組みを検討し、地域文化と人が輝くまちづくりを目指す。

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストを留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標を留意しながら